２０１２年7月２６日

長谷工アーベスト
ホームページへ

長谷工コーポレーション
ホームページへ

近畿圏の「住宅の買い時感」は大幅に上昇
今後の消費税増税を見据え、住宅の購入希望時期も「2 年以内」が増加
～長谷工アーベスト　『顧客マインド調査（7 月）』より～

㈱長谷工アーベスト（本社：東京都港区、関西支社：大阪市中央区　社長：岡　正徳）は、近畿圏居住者（以下、モニター）に対し、2012 年 7 月にＷＥＢアンケート『顧客マインド調査』を実施し、住宅の買い時感について分析を行いました。

その結果、「買い時だと思う」方が 2012 年 4 月調査（以下、前回調査）より大幅に増加し、昨年の東日本大震災で低下した「買い時感」は震災前の水準以上に回復しました。

「買い時だと思う理由」では、現在の“買いやすい市場環境（低金利・低価格・住宅購入の優遇政策)”に加えて、現実味を増してきた“今後の消費税増税”を意識して、「今は買い時」と捉える方が増加している様子が窺えました。また、現在住宅購入を検討されている方の購入希望時期も、消費税増税前にあたる「2 年以内に購入したい」という方が年初の 2012 年 1 月調査（以下前々回調査）よりも増加しており、今後の住宅購入検討の高まりが期待されます。

■「住宅の買い時感」・「住宅の買い時感DI※」について（グラフ①、②）

住宅の買い時感を前回調査と比較すると、「買い時だと思う」と回答した方が、＋9 ポイント（23%→32%）と増加し、「買い時だと思わない」と回答した方が、－3 ポイント（24%→21%）と減少となりました。住宅の買い時感ＤＩについては、＋11 ポイントと前回調査より上昇。震災前を超える水準に回復し、震災以降初めてプラス水準まで転じる結果となりました。

※住宅の買い時感ＤＩの算出方法：「買い時だと思う」の数値から「買い時だと思わない」の数値を差し引いて算出

■「買い時だと思う理由」「購入希望時期」について（グラフ③、④）

「買い時だと思う」理由については、「低金利・低価格・税制面での住宅購入の優遇策」等の買いやすい市場環境が依然として上位なものの、「今後、消費税の引上げが予想される」が 2012 年１月調査よりも＋13 ポイント（63%→76%）増加しており、今回の買い時感の上昇に大きく寄与しているものと思われます。また、現在住宅購入を検討されている方の購入希望時期をみると、2012 年１月調査と比較しても、「2 年以内での購入」を検討されている方が、＋12 ポイント（46%→58%）増加し、約 60%を占めるまでとなっています。

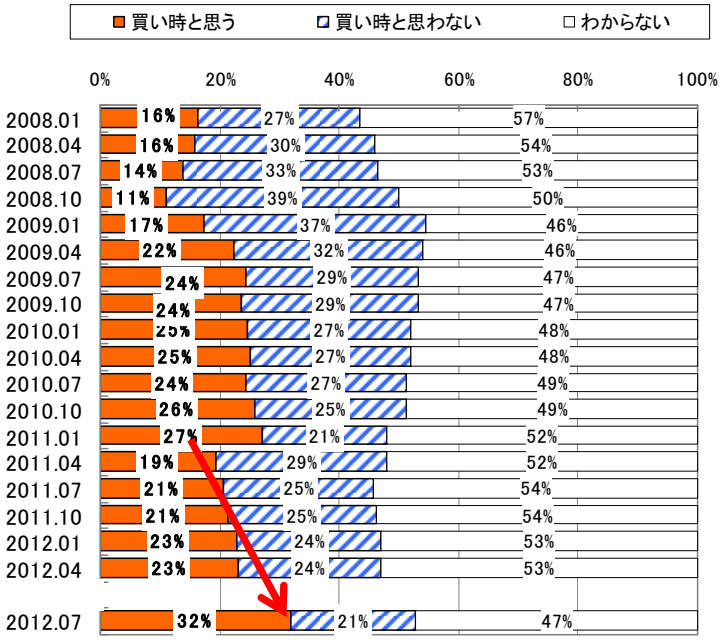
【長谷工アーベスト　顧客マインド調査】

【調査概要】

調査対象	モニター（近畿圏在住）
調査手法	ＷＥＢアンケート
調査実施日	2012 年 7 月 5 日アンケートメール配信、7 月 9 日締切
有効回答件数	モニター：　943 件

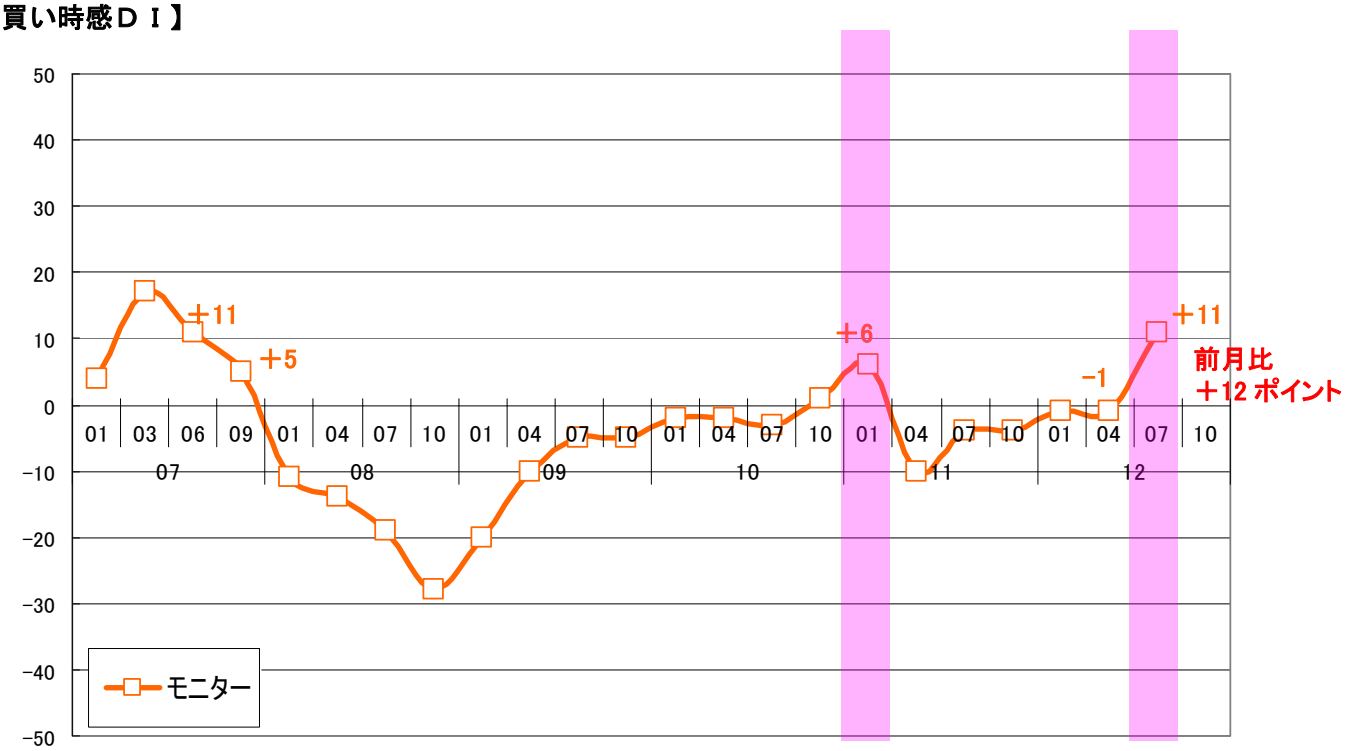
■「住宅の買い時感」について　（グラフ①）

Q. 今は、住宅の買い時だと思いますか？

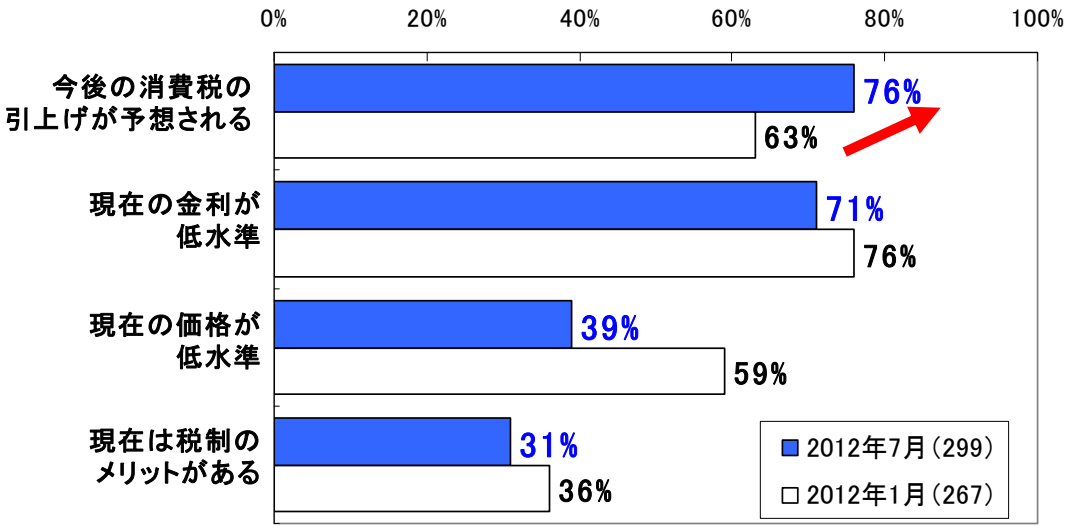


■「住宅の買い時感」ＤＩについて　（グラフ②）

【買い時感ＤＩ】

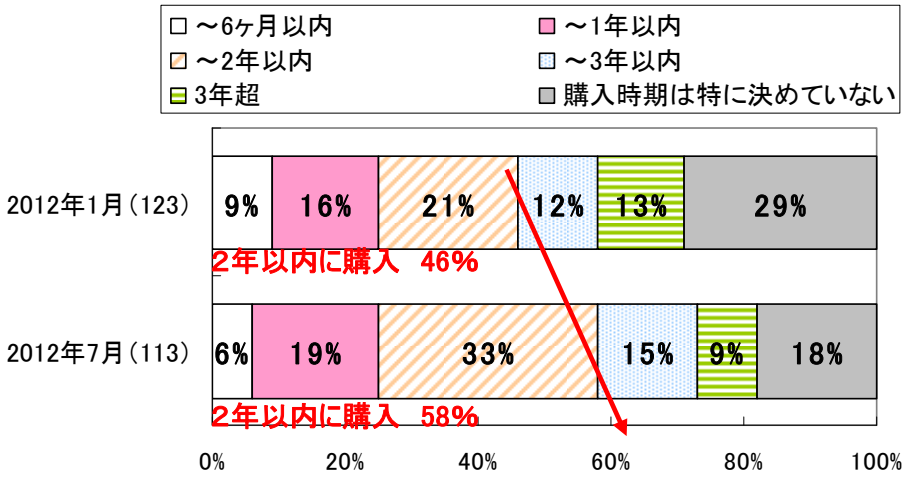


■ 「住宅の買い時」と思う理由※買い時と思う方対象 （グラフ③）



■ 住宅の購入希望時期 ※現在住宅購入を検討されている方対象 （グラフ④）

Q.住宅の購入はいつぐらいまでにお考えですか？（現在住宅購入を検討されている方）



■ 最近のモデルルーム来訪者の声 ※（年齢 家族数 物件所在地）

- このままいけば消費税が上がりそうなので、上がる前には購入したい。
  （30 代・2人家族・神戸市）
- 消費税の増税が具体的になってきたので、今年こそ良い物件があれば購入を検討したい。
  （30 代・3 人家族・堺市）
- 数年にわたり MR 見学を続け、購入は遠い将来の予定であったが、消費税アップが現実的になって、購入を真剣に考えるようになりました。（30 代・2 人家族・堺市）
- 消費税が26年4月に増税のニュースが出て、それまでに購入をした方がよいと思って探し始めた。
  （30 代・3 人家族・尼崎市）
- 社宅で負担なく住んでいるが、将来消費税が上がることを考えて検討を始めた。
  （30 代・2 人家族・守口市）
- 消費税が上がる可能性を考えると、今決断しておいたほうが良さそうですね。高い買物なので契約した後にいい物件がでるのでは・・・となかなか決断ができなかったですが、ようやくできそうです。
  （40 代・3 人家族・大阪市）

２０１２年7月２６日

長谷工アーベスト ホームページへ | 長谷工コーポレーション ホームページへ

名古屋圏の「住宅の買い時感」は大幅に上昇
今後の消費税増税を見据え、住宅の購入希望時期も「2 年以内」が増加
～長谷工アーベスト　『顧客マインド調査（7 月）』より～

㈱長谷工アーベスト（本社：東京都港区、名古屋支店：名古屋市中区　社長：岡　正德）は、愛知県居住者（以下、モニター）に対し、2012 年 7 月にＷＥＢアンケート『顧客マインド調査』を実施し、住宅の買い時感について分析を行いました。

その結果、「買い時だと思う」方が 2012 年 4 月調査（以下前回調査）よりも増加し、昨年の東日本大震災で大きく低下した「買い時感」に関しては概ね震災前の水準まで回復しました。

「買い時だと思う理由」では、現在の“買いやすい市場環境（低金利・低価格・住宅購入の優遇政策)”に加えて、現実味を増してきた“今後の消費税増税”を意識して、「今は買い時」と捉える方が増加している様子が窺えました。また、現在住宅購入を検討されている方の購入希望時期も消費税増税前にあたる「2 年以内に購入したい」という方が年初の 2012 年 1 月調査（以下前々回調査）よりも増加しており、今後の住宅購入検討の高まりが期待されます。

■「住宅の買い時感」・「住宅の買い時感DI※」について（グラフ①、②）

住宅の買い時感を前回調査と比較すると、「買い時だと思う」と回答した方が、＋9 ポイント（22%→31%）と増加し、「買い時だと思わない」と回答した方が、横ばい（26%→26%）となりました。住宅の買い時感ＤＩについては、＋5 ポイントと前回調査より上昇し、プラスの水準に転じました。水準としては、概ね震災前（2011 年 1 月調査）の水準まで回復し、震災以降初めてプラス水準に転じる結果となりました。

※住宅の買い時感ＤＩの算出方法：「買い時だと思う」の数値から「買い時だと思わない」の数値を差し引いて算出

■「買い時だと思う理由」「購入希望時期」について（グラフ③、④）

「買い時だと思う」理由については、「低金利・低価格・税制面での住宅購入の優遇策」等の買いやすい市場環境が依然として上位なものの、今回特に「今後、消費税の引上げが予想される」が 2012 年 1 月調査よりも更に＋11 ポイント増加（70%→81%）しており、今回の買い時感の上昇に大きく寄与しているものと思われます。また、現在住宅購入を検討されている方の購入希望時期をみると、2012 年 1 月調査と比較しても、「2 年以内での購入」を検討されている方が、＋19 ポイント（34%→53%）増加し、約半数を占めるまでとなっています。

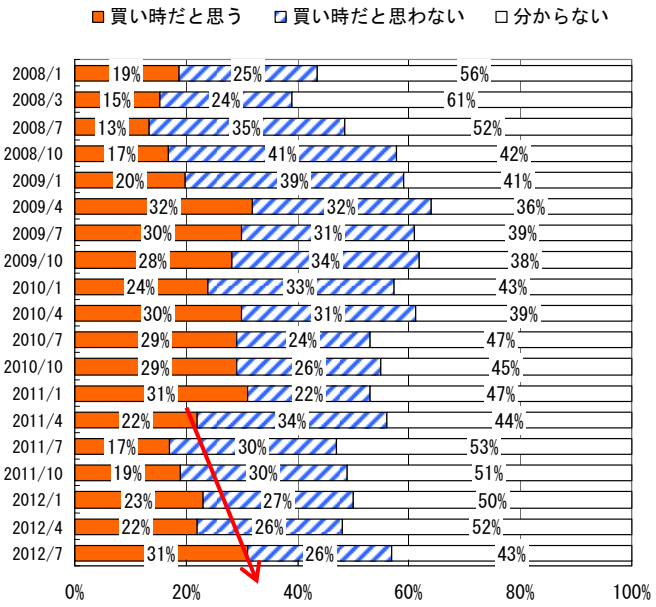
【長谷工アーベスト　顧客マインド調査】

【調査概要】

調査対象	モニター（愛知県在住）
調査手法	ＷＥＢアンケート
調査実施日	2012 年 7 月 5 日アンケートメール配信、7 月 9 日締切
有効回答件数	モニター：　344 件

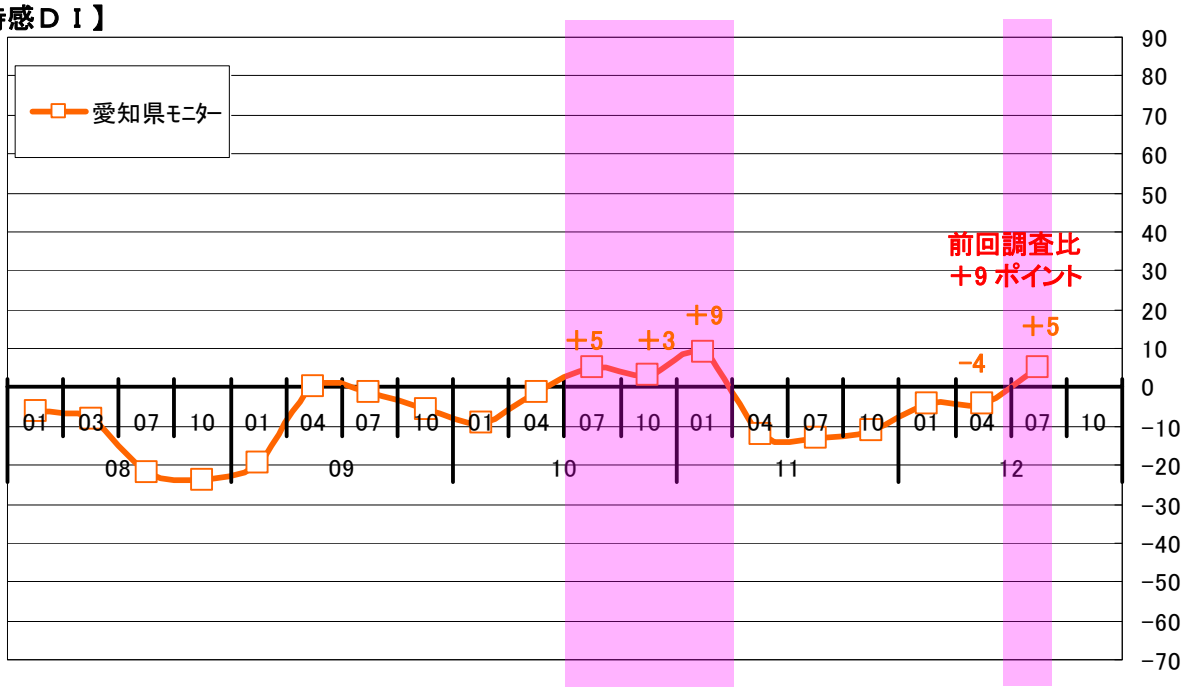
■「住宅の買い時感」について　（グラフ①）

Q. 今は、住宅の買い時だと思いますか？

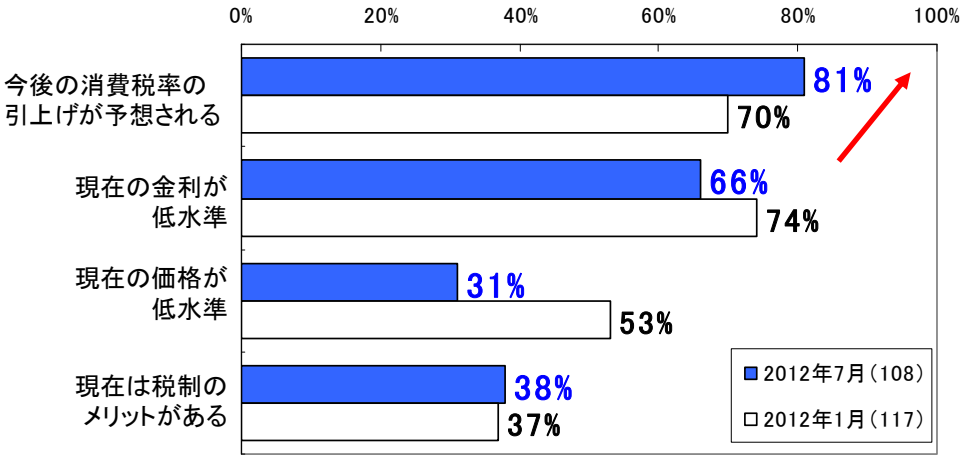


■「住宅の買い時感」ＤＩについて　（グラフ②）

【買い時感ＤＩ】

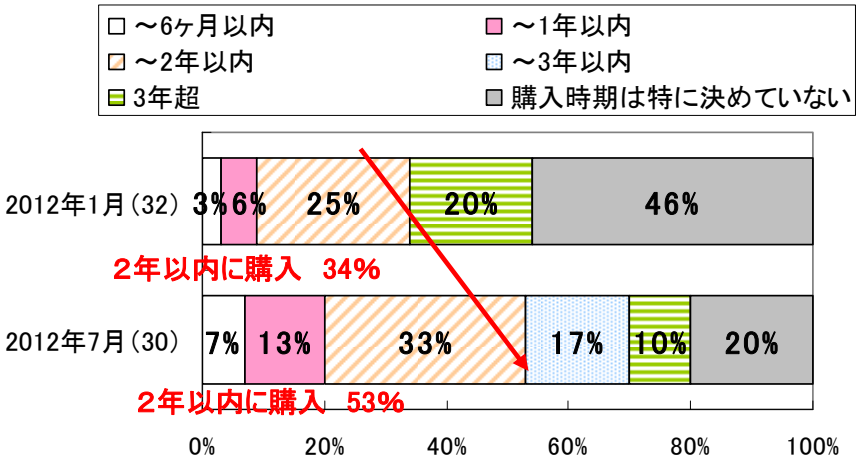


■　「住宅の買い時」と思う理由　※買い時と思う方対象　（グラフ③）



■　住宅の購入希望時期　※現在住宅購入を検討されている方対象　（グラフ④）

Q.住宅の購入はいつぐらいまでにお考えですか？（現在住宅購入を検討されている方）



■　最近のモデルルーム来訪者の声　※（年齢　家族数　物件所在地）

- 消費税が増税されそうなので検討開始しました。（30 代・2 人家族・豊田市）
- 消費税が上がってもおかしくない状況になったので検討を開始しました。
  （30 代・2 人家族・長久手市）
- 消費税増税の前に住宅を買おうと思って来場しました。（30 代・3 人家族・岡崎市）
- 消費税が上がる事になり、本格的に住宅を探しだそうと思った。（30 代・3 人家族・豊田市）